

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結） 平成19年2月14日

上場会社名 株式会社ウェブドゥジャパン  
 (URL http://www.webdojp.com/)

(コード番号：2138 S・G)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小淵 宏二 (TEL：(03)3511-5891)  
 責任者役職・氏名 取締役管理本部長 櫻井 英哉

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無  
 ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無  
 ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 19 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	2,557	—	186	—	183	—	107	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18年3月期	2,807	—	280	—	275	—	130	—

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	3,438	69	—	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	4,342	52	—	—

(注)平成 19 年 3 月期第 3 四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成 18 年 3 月期第 3 四半期及び対前年同四半期増減率等については記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期（自平成 18 年 4 月 1 日至平成 18 年 12 月 31 日）におけるわが国経済は、設備投資や個人消費といった国内民間需要が牽引し、着実な回復基調で推移しました。個人消費は雇用と賃金の改善傾向を反映して底堅く推移しました。

このような状況下で当社は、各事業とも順調に業績が伸張し、特に前事業年度から開始した人材ビジネス事業内の人材紹介サービス及び広告ビジネス事業の成長は著しいものがありました。

これらの結果、当第 3 四半期の業績は、売上高 2,557 百万円、営業利益は 186 百万円、経常利益は 183 百万円となり、第 3 四半期純利益は 107 百万円となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

<人材ビジネス事業>

人材紹介サービスの市場においては、全産業において求人意欲が高く推移し、特に IT・インターネット関連の職種について、採用のニーズは拡大傾向にあり、需要も拡大いたしました。また、テクニカルアウトソーシングサービス・人材派遣サービスの市場においても、IT・インターネット業界の景況感が回復基調に向かっていることから需要は堅調に推移しました。

その結果、当第 3 四半期の業績は、売上高は 1,370 百万円、営業利益は 37 百万円となりました。

<コンテンツビジネス事業>

当事業の主要市場である携帯コンテンツ市場は、複数の企業による移動体通信事業への新規参入許可や、携帯電話で受信可能な地上デジタル放送（1セグメント放送）の開始、第 3 世代携帯電話が本格的な浸透時期に入ったことを背景に、堅調な成長を続けました。このような環境の中で、当社は、既存のスロット、パチンコ携帯ゲームコンテンツの受託開発を中心に、積極的に事業展開を行って参りました。

その結果、当第 3 四半期の業績は、売上高は 797 百万円、営業利益は 265 百万円となりました。

<広告ビジネス事業>

当事業は、自社開発の携帯電話専用の検索エンジンを搭載した検索サイト「CROOZ！」（以下、「CROOZ！」）及び他社携帯サイトを媒体とした、キーワード連動型広告サービス行っております。当社は、「CROOZ！」サービスの付加価値を高めることで媒体価値を高めるとともに、提携サイトへの積極的な働きかけにより携帯向けキーワード連動型広告サービスに注力して参りました。

その結果、当第 3 四半期の業績は、売上高は 390 百万円、営業損失は 116 百万円となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	1,148	569	49.5	18,211	25
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考)18年3月期	1,233	461	37.4	14,772	56

(注)平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期については記載しておりません。

## 【財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末における総資産は、借入金の返済により171百万円減少したのに対し、取引量の増加により売掛金が73百万円、買掛金が88百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ85百万円減の1,148百万円となりました。

流動資産は、売上高の増加により、売掛金については前期末比73百万円増の458百万円となる一方、法人税等の支払、借入金の返済等に伴い、現金及び預金が前期末比189百万円減の400百万円となりました。その結果、当第3四半期会計期間末の流動資産は、125百万円減の894百万円となりました。

固定資産は、事務所のレイアウト変更に伴う内装費等、自社利用ソフトウェアの製作等により、41百万円増の254百万円となりました。

流動負債は、取引量の増加により、買掛金が88百万円増加した一方、借入金の返済により、短期借入金が82百万円、一年内返済予定長期借入金が22百万円減少し、また法人税等の支払いにより、未払法人税等が81百万円減少したこと等により、124百万円減の579百万円となりました。

固定負債は、借入金の返済により長期借入金が67百万円減少となりました。

また、純資産に関しましては、第3四半期純利益が107百万円となったことにより、107百万円増の569百万円となりました。

## 【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
19年3月期第3四半期	58	△76	△171	400	
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	
(参考)18年3月期	170	△152	289	590	

(注)平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期については記載しておりません。

## 【キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末におけるキャッシュ・フローの状況は、税引前第3四半期純利益が183百万円となった一方、法人税等の支払156百万円、及び借入金の返済171百万円等により、前事業年度末に比べ189百万円減少の400百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前第3四半期純利益が183百万円となった中で、取引量の増加により仕入債務が88百万円増加し、また、自社利用ソフトウェアの増加に伴う33百万円の減価償却費の計上がプラス要因となりました。一方で、売上高の増加により売上債権が74百万円増加し、また、法人税等の支払額156百万円がマイナス要因となった結果、58百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、事務所のレイアウト変更に伴う内装費等による有形固定資産の取得により24百万円の支出、及び自社利用ソフトウェアの製作等による無形固定資産の取得により51百万円の支出を行った結果、76百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済82百万円、及び長期借入金の返済89百万円により171百万円の減少となりました。

## 3 平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	3,541	289	161	4,796	28

(注)平成19年3月期(予想)の1株当たり予想当期純利益は、新規上場の際に発行する公募予定株式数(2,500株)を含めた予定期末発行済株式数33,747株により算出しております。

※業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【第3四半期財務諸表】

(1) 四半期要約貸借対照表

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金		400,631		590,063	
2. 売掛金		458,577		384,777	
3. たな卸資産		11,267		13,239	
4. その他		29,928		37,274	
貸倒引当金		△5,876		△5,040	
流動資産合計		894,527	77.9	1,020,315	82.7
II 固定資産					
1. 有形固定資産	※1	54,842	4.8	37,450	3.0
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		94,241		69,603	
(2) その他		793		842	
無形固定資産合計		95,034	8.2	70,446	5.7
3. 投資その他の資産					
(1) 敷金・保証金		104,132		104,532	
(2) その他		—		893	
投資その他の資産合計		104,132	9.1	105,425	8.6
固定資産合計		254,008	22.1	213,322	17.3
資産合計		1,148,536	100.0	1,233,638	100.0

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)		
		金額 (千円)		構成比 (%)	金額 (千円)	
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 買掛金			406,608			318,348
2. 短期借入金			—			82,000
3. 一年内返済予定長期借入金			—			22,224
4. 未払金			59,050			82,076
5. 未払法人税等			20,858			102,839
6. その他	※2		92,601			96,356
流動負債合計			579,119	50.4		703,844
II 固定負債						
1. 長期借入金			—			67,221
2. 繰延税金負債			369			975
固定負債合計			369	0.1		68,196
負債合計			579,489	50.5		772,040

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資本の部)					
I 資本金			—	135,347	11.0
II 資本剰余金					
1. 資本準備金		—		125,347	
資本剰余金合計			—	125,347	10.1
III 利益剰余金					
1. 任意積立金					
特別償却準備金		—	—	3,108	3,108
2. 当期末処分利益			—	197,795	
利益剰余金合計			—	200,903	16.3
資本合計			—	461,598	37.4
負債・資本合計			—	1,233,638	100.0
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金			135,347	—	—
2. 資本剰余金					
(1) 資本準備金		125,347		—	
資本剰余金合計			125,347	—	—
3. 利益剰余金					
(1) その他利益剰余金					
特別償却準備金		1,786		—	
繰越利益剰余金		306,565		—	
利益剰余金合計			308,351	—	—
株主資本合計			569,046	—	—
純資産合計			569,046	—	—
負債純資産合計			1,148,536	—	—

(注) 平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っていません。

## (2) 四半期要約損益計算書

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)			前事業年度の要約損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		
		金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高			2,557,509	100.0		2,807,519	100.0
II 売上原価			1,773,580	69.3		1,983,274	70.6
売上総利益			783,928	30.7		824,245	29.4
III 販売費及び一般管理費			597,119	23.4		543,592	19.4
営業利益			186,809	7.3		280,652	10.0
IV 営業外収益			44	0.0		10	0.0
V 営業外費用	※1		2,892	0.1		5,432	0.2
経常利益			183,961	7.2		275,230	9.8
VI 特別損失	※2		596	0.0		38,677	1.4
税引前第3四半期(当期)純利益			183,364	7.2		236,552	8.4
法人税、住民税及び事業税		75,360			112,836		
法人税等調整額		555	75,916	3.0	△6,574	106,262	3.8
第3四半期(当期)純利益			107,448	4.2		130,290	4.6

(注) 平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っていません。

## (3) 四半期株主資本等変動計算書

当第3四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
				特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
平成18年3月31日残高	135,347	125,347	125,347	3,108	197,795	200,903	461,598	461,598
第3四半期会計期間中の変動額								
利益処分による特別償却準備金の積立 (注)	-	-	-	73	△73	-	-	-
利益処分による特別償却準備金の取崩 (注)	-	-	-	△844	844	-	-	-
特別償却準備金の取崩	-	-	-	△550	550	-	-	-
第3四半期純利益	-	-	-	-	107,448	107,448	107,448	107,448
第3四半期会計期間中の変動額合計	-	-	-	△1,321	108,770	107,448	107,448	107,448
平成18年12月31日残高	135,347	125,347	125,347	1,786	306,565	308,351	569,046	569,046

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## (4) 四半期キャッシュ・フロー計算書

		当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第3四半期(当期)純利益		183,364	236,552
減価償却費		33,105	28,229
貸倒引当金の増減額 (△減少額)		836	775
受取利息及び受取配当金		△ 34	△ 3
支払利息		763	4,209
新株発行費		—	1,222
固定資産除却損		596	11,262
売上債権の増減額 (△増加額)		△ 74,870	△ 128,154
たな卸資産の増減額 (△増加額)		1,972	△ 3,881
仕入債務の増減額 (△減少額)		88,006	77,847
未払消費税等の増減額 (△減少額)		△ 3,952	1,725
その他資産の増減額 (△増加額)		6,987	△ 12,460
その他負債の増減額 (△減少額)		△ 21,503	△ 9,911
小計		215,272	207,415
利息及び配当金の受取額		34	3
利息の支払額		△ 433	△ 4,102
法人税等の支払額		△ 156,626	△ 32,375
営業活動によるキャッシュ・フロー		58,246	170,939
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△ 24,933	△ 34,490
無形固定資産の取得による支出		△ 51,700	△ 57,803
敷金保証金の預入による支出		—	△ 83,765
敷金保証金の償還による収入		400	23,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 76,234	△ 152,678

		当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (△減少額)		△ 82,000	82,000
長期借入金の返済による支出		△ 89,445	△ 22,224
株式の発行による収入		—	229,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 171,445	289,248
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)		△ 189,432	307,509
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高		590,063	282,554
Ⅵ 現金及び現金同等物の第3四半期末(当期)残高	※	400,631	590,063

(注) 平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っておりません。

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1. 資産の評価基準及び評価方法	たな卸資産 仕掛品 個別法による原価法を採用しております。	たな卸資産 仕掛品 同 左
2. 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 3年～24年 工具器具備品 3年～15年 (2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。	(1) 有形固定資産 同 左 (2) 無形固定資産 同 左
3. 引当金の計上基準	貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。	貸倒引当金 同 左
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同 左
5. 第3四半期キャッシュ・フロー計算書（キャッシュ・フロー計算書）における資金の範囲	手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同 左
6. その他第3四半期財務諸表（財務諸表）作成のための基本となる重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 (2) 税額計算に際しての諸準備金等の取扱い 第3四半期会計期間にかかる納付税額及び法人税等調整額は、当事業年度において予定している利益処分による特別償却準備金の取崩を前提として、当第3四半期会計期間に係る金額を計算しております。	(1) 消費税等の会計処理 同 左 (2) _____

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

<p>当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)</p>	<p>前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)</p>
<p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準) 当第3四半期会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。 従来の資本の部の合計に相当する金額は569,046千円であります。 なお、中間財務諸表等規則の改正により、当第3四半期会計期間における四半期貸借対照表の純資産の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。</p>	<p>(固定資産の減損に係る会計基準) 当期から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。</p>

追加情報

<p>当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)</p>	<p>前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)</p>
	<p>(外形標準課税) 平成18年3月31日に第三者割当増資を実施し、資本金が1億円を超過したため、「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)の適用の対象となりました。そのため、当期から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の扱い」(平成16年2月13日企業会計基準委員会 実務対応報告書第12号)に基づき、法人事業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管理費に計上しております。 この結果、販売費及び一般管理費が4,544千円増加しております。</p>

注記事項

(第3四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)	前事業年度 (平成18年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 13,282千円 ※2 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺の上金額的に重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	※1 有形固定資産の減価償却累計額 14,226千円 ※2 _____

(第3四半期損益計算書関係)

当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
※1 営業外費用の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 支払利息 763千円 上場準備費用 2,116千円 ※2 特別損失の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 固定資産除却損 596千円 3 減価償却実施額 有形固定資産 7,097千円 無形固定資産 26,008千円	※1 営業外費用の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 支払利息 4,209千円 新株発行費 1,222千円 ※2 特別損失の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 固定資産除却損 11,262千円 本社移転費用 24,924千円 3 減価償却実施額 有形固定資産 7,624千円 無形固定資産 20,605千円

(第3四半期株主資本等変動計算書関係)

当第3四半期会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

	前事業年度末 株式数(株)	当第3四半期会計期間 増加株式数(株)	当第3四半期会計期間 減少株式数(株)	当第3四半期会計期間末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	31,247	—	—	31,247
合計	31,247	—	—	31,247

2. 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(第3四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)				
※ 現金及び現金同等物の第3四半期末残高と第3四半 期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成18年12月31日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記 されている科目の金額との関係 (平成18年3月31日現在) (千円)				
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: left;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">400,631</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	400,631	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: left;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">590,063</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	590,063
現金及び預金勘定	400,631				
現金及び預金勘定	590,063				
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: left;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">400,631</td> </tr> </table>	現金及び現金同等物	400,631	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: left;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">590,063</td> </tr> </table>	現金及び現金同等物	590,063
現金及び現金同等物	400,631				
現金及び現金同等物	590,063				

## (リース取引関係)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)				前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期末残高相当額				1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額			
	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	第3四半期末残高相当額 (千円)		取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)
車両及び運搬具	25,267	6,758	18,508	車両及び運搬具	34,578	5,741	28,837
工具器具備品	46,972	13,903	33,068	工具器具備品	33,069	7,135	25,934
合計	72,239	20,662	51,577	合計	67,648	12,876	54,771
(2) 未経過リース料第3四半期末残高相当額				(2) 未経過リース料期末残高相当額			
1年内			13,976千円	1年内			14,075千円
1年超			38,764千円	1年超			41,604千円
合計			52,741千円	合計			55,680千円
(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額				(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額			
支払リース料			8,427千円	支払リース料			12,346千円
減価償却費相当額			7,445千円	減価償却費相当額			11,039千円
支払利息相当額			1,156千円	支払利息相当額			2,057千円
(4) 減価償却費相当額の算定方法				(4) 減価償却費相当額の算定方法			
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				同 左			
(5) 利息相当額の算定方法				(5) 利息相当額の算定方法			
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。				同 左			

## (有価証券関係)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

該当事項はありません。

前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

該当事項はありません。

## (デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

当社は、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

当社は、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

## (ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第3四半期会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

該当事項はありません。

前事業年度(自平成17年4月1日至平成18年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
1株当たり純資産額 18,211.25円	1株当たり純資産額 14,772.56円
1株当たり第3四半期純利益金額 3,438.69円	1株当たり当期純利益金額 4,342.52円
なお、潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場かつ非登録であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場かつ非登録であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。  当社は、平成18年2月27日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。 なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。 1株当たり純資産額 3,353.76円 1株当たり当期純利益金額 4,356.85円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
第3四半期(当期)純利益(千円)	107,448	130,290
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る第3四半期(当期)純利益(千円)	107,448	130,290
期中平均株式数(株)	31,247	30,003

(重要な後発事象)

当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
<p>当社株式は、株式会社大阪証券取引所の承認を経て、平成19年2月14日にヘラクレスに上場しております。上場に当たり、平成19年1月23日及び平成19年2月1日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を決議し、平成19年2月13日に払い込みが完了いたしました。</p> <p>この結果、平成19年2月13日付で資本金は316,697千円、発行済株式総数は33,747株となっております。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 募集方法 : 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)</li><li>2. 発行する株式の種別及び数 : 普通株式 2,500株</li><li>3. 発行価格 : 1株につき156,000円 一般募集はこの価格にて行いました。</li><li>4. 引受価額 : 1株につき145,080円 この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。 なお、発行価格との引受価額との差額は、引受人の手取金となります。</li><li>5. 発行価額 : 1株につき115,600円</li><li>6. 資本組入額 : 72,540円</li><li>7. 発行価額 : 289,000千円</li><li>8. 払込金額の総額 : 362,700千円</li><li>9. 資本組入額の総額 : 181,350千円</li><li>10. 払込期日 : 平成19年2月13日</li><li>11. 資金の使途 : 運転資金(企業ブランドイメージ向上のための広告宣伝費等)に充当する予定であります。</li></ol>	<hr/>

## 【生産、受注及び販売の状況】

### (1) 生産実績

当第3四半期会計期間及び前事業年度の生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
人材ビジネス事業 (千円)	—	—
コンテンツビジネス事業 (千円)	357,716	594,084
広告ビジネス事業 (千円)	400,193	203,167
合計 (千円)	757,909	797,251

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 人材ビジネス事業については、提供するサービスの性格上、生産実績の記載になじまないため省略しております。

なお、平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っておりません。

### (2) 受注状況

当第3四半期会計期間及び前事業年度の受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
人材ビジネス事業	—	—	—	—
コンテンツビジネス事業	799,884	26,033	1,129,172	23,150
広告ビジネス事業	390,377	11,215	169,068	10,860
合計	1,190,261	37,248	1,298,240	34,010

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 人材ビジネス事業については、生産実績と同様の理由により、記載を省略しております。

なお、平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っておりません。

### (3) 販売実績

当第3四半期会計期間及び前事業年度の販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
人材ビジネス事業 (千円)	1,370,486	1,508,527
コンテンツビジネス事業 (千円)	797,001	1,138,750
広告ビジネス事業 (千円)	390,021	160,241
合計 (千円)	2,557,509	2,807,519

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間及び前事業年度の主要な販売先に対する販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
山佐株式会社	333,923	13.1	542,252	19.3
株式会社三洋販売	288,246	11.3	307,600	11.0

なお、平成19年3月期第3四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期との比較は行っていません。